



各 位

上場会社名 クリナップ株式会社
 代表者 代表取締役社長 井上 強一
 (コード番号 7955)
 問合せ先責任者 執行役員経理部長 田中 仁
 (TEL 03-3894-4771)

第2四半期累計期間業績予想数値と実績値との差異および 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成22年5月11日に公表いたしました平成23年3月期の第2四半期累計期間業績予想数値(連結・個別)と実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年5月11日に公表いたしました平成23年3月期の通期業績予想数値(連結・個別)を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成23年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値と実績値との差異(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	48,700	450	350	△ 150	△ 3.20
今回実績(B)	50,982	1,874	1,760	1,249	26.66
増減額(B-A)	2,282	1,424	1,410	1,399	
増減率(%)	4.7	316.5	402.9	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	48,482	1,362	1,278	1,134	24.10

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	100,000	1,050	850	100	2.13
今回発表予想(B)	103,500	2,200	2,000	1,200	25.60
増減額(B-A)	3,500	1,150	1,150	1,100	
増減率(%)	3.5	109.5	135.3	—	
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	98,843	1,840	1,679	2,104	44.80

平成23年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値と実績値との差異(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	47,000	300	400	△ 100	△ 2.13
今回実績(B)	49,112	1,462	1,580	1,141	24.36
増減額(B-A)	2,112	1,162	1,180	1,241	
増減率(%)	4.5	387.6	295.2	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	46,803	1,016	1,165	1,109	23.57

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	96,500	750	750	50	1.07
今回発表予想(B)	100,000	1,650	1,650	1,000	21.33
増減額(B-A)	3,500	900	900	950	
増減率(%)	3.6	120.0	120.0	—	
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	95,402	1,103	1,225	1,894	40.32

差異および修正の理由

1. 第2四半期累計期間

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとする新興国の顕著な景気回復や政府による景気刺激策もありましたが、円高進行や株安等の不安要因もあり、個人消費は将来の不安から節約志向が根強く、低価格志向が一層強まり、業界環境は厳しい状況が続きました。このような状況下で当社は、値ごろ感のある商品の強化を行い増収、増益を確保いたしました。

2. 通期

通期の見通しにつきましては、円高傾向が加速する中、依然として景気回復の本格化には至らず、個人消費の持ち直しにはさらに時間を要するものと予想されます。新設住宅着工戸数も回復の兆しはみられるものの絶対量は低水準のまま推移しており、住宅設備機器業界を取り巻く環境は、厳しい状況が継続するものと思われま

す。こうした状況下で当社は、値ごろ感のある商品を中心に売上拡大に努め、需要構造の変化に対応した販売活動を推進、生産面での原価低減、コスト削減にも引き続き努めてまいります。

以上により、通期の連結業績予想につきましては、売上高1,035億円、営業利益22億円、経常利益20億円、当期純利益12億円に修正させていただきます。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上